

地域に寄り添い、街とともに考える、コミュニケーション誌

JFM だより

埼玉県川口市

June
2025
Vol. 54

地域とともに歩み
生徒の可能性を広げる
開かれた学び舎

川口市立高等学校

INDEX

- 01 融資がつむぐまちづくり
- 05 地域のために がんばる公営競技
- 07 JFM TOPICS
- 11 利用してみよう! 地方支援業務
- 15 みんな気になる、お金のこと
- 17 わたしのシゴト わたしのジモト
- 18 機構からのお知らせ
- 19 私たちもJFM債買っています!!
- 19 編集後記

金融で地方財政を支え 地域の未来を拓く



地方公共団体金融機構
Japan Finance Organization for Municipalities

埼玉県
川口市

川口市立 高等学校



JFM制度 [公共施設等適正管理推進事業] を活用

SDGs of Kawaguchi Municipal High School



施設概要

所在地: 埼玉県川口市
上青木3丁目1番40号

開校: 平成30年4月
敷地面積: 49,535.91㎡
建築面積: 13,552.58㎡

施設の
ホームページ



地域社会を支える 次世代人材を育む 文武両道の進学校

鋳物産業のまちとして発展を遂げ、
ものづくりの精神が今なお息づく埼玉県川口市。
本市では次代を担う若者の育成に力を注いでおり、
その中核を担っているのが、
地域に開かれた学びを実践する
川口市立高等学校です。

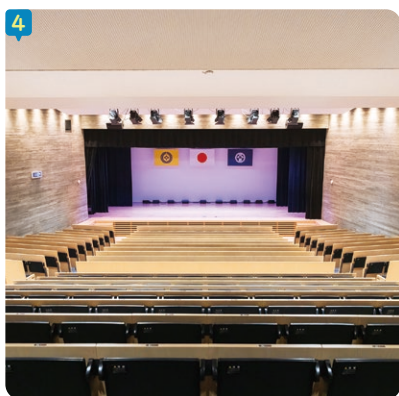
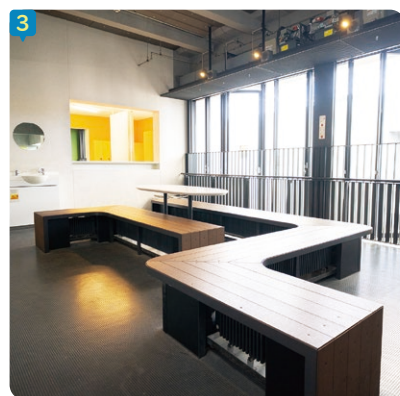
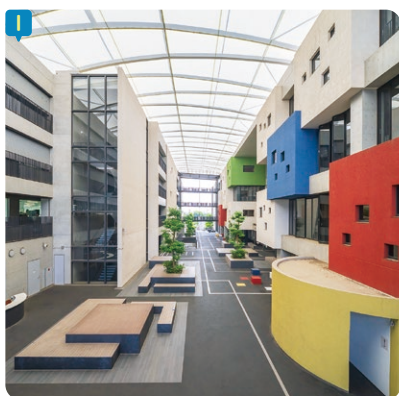
廃プラスチックなどで
制作した生徒の作品



まちづくりは

地域に誇りを持てる 人間性を育むキャンパスロード

敷地の東西を横断し、生徒たちの活動や交流の軸となる「キャンパスロード」に、鋳物や植木といった市の伝統産業を取り入れています。生徒が日常的に川口市らしさに触れることで、地域の魅力を理解し、地域に誇りを持てる人間性を育てています。



STAFF VOICE

副主幹 遠藤 幸可

生徒たちの成長を 支えていきたい！

本校は充実した教育環境で、生徒たちは勉強や部活、行事などすべてに一生懸命な真面目で良い子たちばかりです。校長をはじめとする先生方や職員たちで丸となり、生徒たちの成長を支えていきたいと思っています。



- 1 **ラーニングストリート**:校舎棟を貫くラーニングストリートは、風が通り抜け自然光が差し込む半屋外の空間です。明るく開放感があり、生徒が生き生きと活動できる環境をつくりだしています。
- 2 **グラウンド**:全天候型人工芝とし、サッカーグラウンドや陸上用400メートルトラックを備え、テニスコート4面も併設しています。
- 3 **コモロビー**:休み時間や放課後に生徒たちが集まり、思い思いに過ごせる休憩スペースです。
- 4 **大ホール**:500席を有した大ホールは、研究発表会、音楽会、演劇会、部活動の発表会などに活用しているほか、職員の会議にも使用しています。
- 5 **ラーニングコモズ(図書館)**:本や電子情報から得た知識をもとにディスカッションしながら、生徒が主体的に学んでいくスペースとなっています。
- 6 **アリーナS棟**:観覧席を備えたバスケットボールコート3面分の広さの大アリーナで、さまざまな競技に対応可能。アリーナN棟には、柔剣道場、中小アリーナを設置しています。

地域とともに歩み 生徒の可能性を広げる 開かれた学び舎



川口市立高等学校
吉野 浩一 校長

川口市立高等学校の開校準備に携わり、令和6年4月に校長に着任。



市未来を担う学校づくり

川口市立高等学校は、平成30年に市内3校を統合して開校した新しい学校です。私は校長として赴任する前から準備委員として携わっており、この学校の誕生を最前線で見届けてきました。校舎の整備にあたっては、JFMの融資を活用し、アリーナ棟建設工事や第2校地グラウンド整備、旧校舎棟解体工事といった大規模事業を推進することができました。長期・低利の融資により、先を見据えた学校づくりが実現できたと感じています。

本校では「未来を創る しなやかでたくましい人材の育成」を教育目標に掲げ、一生懸命を楽しみながら力を伸ばす進学校としての成長を目指しています。令和3年に附属中学校を併設し、令和4年には文部科学省からスーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)の指定を受けるなど、開校以降、着実な歩みを続けてきました。中学生や保護者の見学も増えており、「ここで学びたい」という声を聞かたびに、この学校が地域に根差していることを実感します。

多様な学びと出会いが生徒を育てる

現在、本校には理数科、普通科、スポーツ科学コース、さらに附属中学校を含む中高一貫教育の体制が整っており、さまざまな個性と目標を持った生徒たちが集っています。その多様性こそが、本校の大きな力です。定時制の生徒も含め、日々の学びの中で仲間たちと学び合い、励まし合い、時には競い合いながら、視野を広げて成長していく。学校とはそういった場所であるべきだと考えています。

文武両道の実践にも力を注いでおり、学力向上と部活動の両立支援を徹底しています。進学補講や自習支援の充実により、国公立大学や難関私大への合格実績も年々向上しています。市内外から多くの生徒が志願し、今では川口市のリーディング校としての役割を期待される存在となりました。

これからも地域とともに歩みながら、生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出せる、そんな学校づくりを目指していきたいと思います。

川口市立高等学校ができるまで

計画

少子化の進展や校舎の老朽化などの観点から、市内の市立高等学校3校の再編・統合を計画。

開校

旧市立川口総合高等学校の校地に新校舎を建設し、平成30年4月に川口市立高等学校を開校。

アリーナ棟竣工

開校3年目に、アリーナS棟とアリーナN棟が竣工。

第1校地完成

開校4年目に、グラウンドやテニスコートが竣工し、第1校地のすべてが完成。

公共施設等適正管理 推進事業

公共施設等総合管理計画に基づいて実施する事業で、既存の公共施設の集約化・複合化・長寿命化・立地適正化等を実施するものを対象としています。

融資活用事例一覧はこちら



JFM Staff Message

川口市立高等学校建設にあたり、ご活用いただいた公共施設等適正管理推進事業につきましては、令和6年度は、JFMから全国の地方公共団体に対し、総額1,406億円の貸付けを行いました。JFMでは、電子申請・通知システムによる借入申込事務のオンライン化により、効率化に取り組んでいます。借入事務にあたり、ご不明な点などありましたら、お気軽に融資部各都道府県担当までご相談ください。よろしくお願いいたします。



融資部融資課 埼玉県担当
藤村 亮介



埼玉県 川口市の



(2025年6月1日現在)



(2025年6月1日現在)



庁舎内 シビック・キューボラ(吹抜空間)東面



川口市職員の皆さん

「さらなる選ばれるまち」として 発展し続けるために

川口市では、「住みやすいまち」を超えて、いつまでも住み続けたい「さらなる選ばれるまち」として発展し続けることを目指し、さまざまなまちづくり施策に取り組んでいます。令和7年中に、長年進めてきた新庁舎建設事業、赤山歴史自然公園整備事業、川口市立高等学校整備事業の3大プロジェクトが完結するほか、改修工事中の川口総合文化センター・リリア、建設中の美術館などが完成します。さらに、上野東京ラインを川口駅に停車させるための基本協定をJR東日本と締結しました。これからも災害に強いまちを実現するための都市基盤整備や防犯対策の強化、多文化共生の推進、働きやすいまちづくり、生物多様性の保全などの施策を積極的に推進していきます。

▶ 行政 Pick Up!

赤山歴史自然公園整備事業

川口市赤山地域に、自然豊かな公園「イイナパーク川口」や、首都高速道路初のハイウェイオアシス「川口ハイウェイオアシス」、市内初の火葬施設「川口市めぐりの森」を整備。「イイナパーク川口」には子ども向け大型遊具や、多様な生き物が生息するとんぼ池、地域の歴史を学べる歴史自然資料館などがあり、多くの皆さんにお越しいただいています。



川口総合文化センター・リリア改修 及び美術館建設事業

川口駅西ロエリアにおいて、「川口総合文化センター・リリア」の大規模改修と市立美術館の建設を進めています。市民の皆さんに文化・芸術を楽しんでいただくとともに、未来を担う子どもたちの豊かな感性を育み成長する場となるよう、美術館での展示や企画展などについても準備を進めています。



▶ 進めています!DX&GX

DX 行政手続のオンライン化 等

市民一人ひとりに寄り添った利便性の高い行政サービスの提供を目指し、デジタル技術の活用に取り組んでいます。「行政手続のオンライン化」「市役所窓口や市公共施設におけるキャッシュレス決済の導入」を順次実施しているほか、「書かない窓ロシステムの導入」(令和7年9月開始予定)を計画しています。

GX 地球温暖化対策活動支援金の交付

川口市では、令和4年3月に「ゼロカーボンシティ」を宣言しており、太陽光発電システムや電気自動車等を導入いただいた市民に対して、川口市地球温暖化対策活動支援金を交付しています。また、県内の市町村において唯一「川口市地球温暖化防止活動推進センター」を設置しており、啓発活動に努めています。

まちの魅力を発信!

シティプロモーション



令和5年度に官民連携地域情報Webサイト「トリコカワグチ」を開設し、行政情報に加えて幅広い地域情報を発信しています。また、令和6年度にはInstagram「川口Style」を開設。市内の人気飲食店や穴場スポットを紹介するなど、川口市の魅力をPRしています。

トリコカワグチ



川口Style



地域のために がんばる公営競技

競馬

競輪

オートレース

ボートレース

伊東温泉競輪場

静岡県伊東市

地域の賑わい創出と 健全な競輪事業運営を両立

湯の街として知られる伊東市の山寄りに位置し、豊かな自然に囲まれた伊東温泉競輪場。

近年では「地域に開かれた競輪場」をコンセプトに、施設のリニューアルやイベントの充実を図りながら、競輪ファン以外の家族連れや観光客も楽しめる憩いの場へと進化を遂げています。

伊東温泉競輪場
ホームページ



令和4年10月にリニューアルオープンした第4スタンドには、「特別観覧席」や「ロイヤルルーム」も設置。利用者のニーズに合わせてご利用いただけます。



第4スタンド1階の「ピロティエリア」には大型ビジョンを設置し、大迫力のレース映像を提供。イベントスペースとしても活用しています。



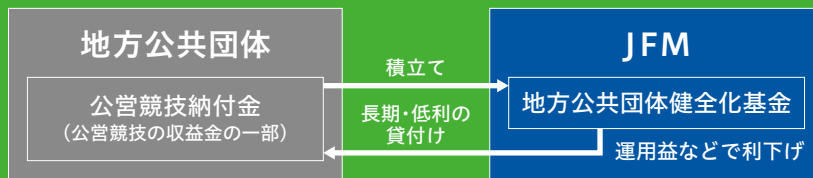
「伊東温泉横丁」(食堂エリア)では、昭和レトロな雰囲気の中、昔ながらの中華そばなどの人気メニューを楽しむことができます。



周長333メートルの「333バンク」でありながら、ほかの同型バンクよりも直線が長いことが特徴で、スリリングなレース展開が期待できます。

公営競技とJFMの関係

JFMでは、公営競技の収益金の一部を受け入れて運用し、地方公共団体へ融資する際の利下げ財源として活用しています。



INTERVIEW

地域に寄り添いながら、安定した黒字運営を継続

伊東温泉競輪場は、開設75周年を迎える歴史ある競輪場です。赤字経営に悩まれた時代もありましたが、平成26年度に累積赤字を解消して以降、現在まで安定した黒字経営を継続。市の財政を支えると同時に、地域経済の活性化や災害時の防災拠点、観光資源としての機能も担っています。今年度よりメインスタンドの再整備を開始し、令和10年には新スタンドが完成予定です。コンパクトかつバリアフリーな施設へと生まれ変わり、さらに地域に愛される競輪場を目指します。

伊東市観光経済部公営競技事務所

福西 淳 所長

収益向上のための取組

賑わいと交流が生まれる地域密着型イベントの開催

伊東温泉競輪場では、ファンサービスと地域交流を目的に、平成30年より「ミカリンフェス」という地域密着型イベントを継続的に開催しています。ヒーローショーやBMXショー、タレントトークライブ、キッチンカー出店など、多彩なプログラムを実施し、親子連れを中心に人気を集めています。イベントをきっかけに競輪に興味を持ってくださる方もおり、継続的な集客と競輪場のイメージ向上につながっています。



取組実施までの道のり

1

レースを開催しない休日に行うイベントを企画



新規ファン獲得に向け、当初は本場開催に合わせたイベントを計画していましたが、本場開催が減少し、受託場外開催が増加している状況を踏まえ、レースが開催されない休日に行うイベントを平成30年に企画しました。

2

教育委員会等の協力の下、周知活動を実施



開催を重ねる度にイベント内容のブラッシュアップを行うとともに、子ども向けプログラムを開催する際には、教育委員会等の協力の下、地域の幼稚園や保育園にチラシを配布するなど、周知活動に努めました。

3

地域の賑わいを創出する目玉イベントとして定着



現在では、伊東温泉競輪場の目玉イベントとして定着しています。今後も定期的な開催を通じて、地域の賑わい創出と健全な競輪事業の運営を両立していく方針です。

取組成果

イベント初年度(平成30年度)の実績

来場者数 前年度比 **50%増**

車券購買額 前年度比 **25%増**

※本場開催と合わせた実績

JFM TOPICS

調査・報告

令和6年度事業のご報告

貸付け

各地方公共団体に着実な融資を実施

地方公共団体の皆様のニーズに積極的に対応し、総額1兆4,368億円を融資しました。

貸付額の推移

(単位:億円)

	R4	R5	R6	増減 (R6-R5)
一般会計債	6,556	7,565	7,496	▲69
臨時財政対策債	2,838	1,732	683	▲1,049
減収補填債	—	—	—	—
公営企業債	6,491	6,481	6,189	▲292
その他	—	—	—	—
計※	15,886	15,778	14,368	▲1,410

※四捨五入により計が一致しないことがあります。

資金調達

安定的かつ柔軟な資金調達を実施

市場のニーズを踏まえ、多様な年限及び形態による柔軟な資金調達を行い、総額1兆8,230億円を調達しました。

資金調達の実績

(単位:億円)

	R4	R5	R6	増減 (R6-R5)
公募債	11,355	11,243	10,609	▲634
地共連等引受債	5,300	5,335	5,395	60
長期借入	1,270	900	826	▲74
政府保証債※	—	—	1,400	1,400
計	17,925	17,478	18,230	752

※発行価額ベースで記載しています。

地方支援

3つの柱で多様なニーズに応える

地方公共団体のニーズに応じて、調査研究、人材育成・実務支援、情報発信の3つを柱とする地方支援業務に取り組みました。



調査研究

- ▶ JFM・GRIPS連携プロジェクト
- ▶ 地域金融に関する調査研究
- ▶ 地方財政等に関する研究者に対する助成事業
- ▶ 地方財政等に関する調査等
- ▶ 諸外国の地方行財政制度等に関する調査研究
- ▶ 地方公共団体の先進事例に関する調査研究
- ▶ 財政状況ヒアリング



人材育成・実務支援

- ▶ 地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業
- ▶ eラーニング
- ▶ JFM地方財政セミナー・JFM地方公営企業セミナー
- ▶ 資金調達入門研修
- ▶ 資金運用入門研修
- ▶ 出前講座
- ▶ 自治体ファイナンス・アドバイザー等による実務支援(個別相談)



情報発信

- ▶ 先進事例検索システムの提供
 - ▶ 財政分析チャート「New Octagon」の提供
 - ▶ 地方行財政に関する調査研究・研修に係る情報を集約的に掲載
 - ▶ 金融データ及び経済指標データ等の提供
 - ▶ eラーニングや研修会テキストの公開
- ※ホームページにて提供・公開しています。

森林整備などの推進に貢献

機構法附則第14条に基づき、公庫債権金利変動準備金の一部300億円を国庫に納付し、その納付金は森林整備などの推進に係る森林環境譲与税の譲与額の増額のために活用されました。

JFMの事業内容
をもっと詳しく知りたい方は
業務案内パンフレット



JFMの事業実績
をもっと詳しく知りたい方は
ディスクロージャー誌



JFM 刊行物

検索

<https://www.jfm.go.jp/book/index.html>



最新版のPDFをダウンロードできます！

令和6年4月1日～令和7年3月31日における、地方公共団体金融機構の事業概況についてご報告します。

令和6年度決算概要

令和6年度は、貸付金利息が減少し、債券利息が増加しましたが、経常収益のうち余資運用益の増加等により、当期純利益は362億円となり、前年度と同水準となりました。

損益

(単位:億円)

	R5 決算	R6 決算	増減
経常収益	2,091	2,086	▲4
貸付金利息	1,895	1,857	▲38
余資運用益	1	26	25
その他	194	202	7
経常費用	1,182	1,258	75
債券利息	1,098	1,154	55
借入金利息	10	13	3
その他	73	90	16
経常利益	908	828	▲80
特別利益	525	320	▲204
公庫債権金利変動準備金取崩額	500	300	▲200
利差補てん積立金取崩額	25	20	▲4
特別損失	1,070	786	▲284
公庫債権金利変動準備金繰入額	570	486	▲84
国庫納付金	500	300	▲200
当期純利益	362	362	▲0

※単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合があります。

資産・負債・純資産

(単位:億円)

	R5 決算	R6 決算	増減
資産総額	241,641	238,938	▲2,702
貸付金	230,740	227,001	▲3,738
有価証券	2,045	2,720	675
現金預け金	8,736	9,087	350
その他資産	55	65	9
有形固定資産	29	28	▲1
無形固定資産	34	35	1
前払年金費用	—	0	皆増
負債総額	237,382	234,448	▲2,934
債券	189,493	186,776	▲2,716
借入金	5,303	5,295	▲8
金融商品等受入担保金	4,130	3,706	▲424
その他	69	65	▲4
地方公共団体健全化基金	9,264	9,318	53
金利変動準備金	22,000	22,000	—
公庫債権金利変動準備金	7,086	7,273	186
利差補てん積立金	34	13	▲20
純資産総額	4,258	4,490	231
地方公共団体出資金	166	166	—
一般勘定積立金	3,704	4,066	362
管理勘定利益積立金	578	578	—
繰延ヘッジ損益	▲189	▲320	▲131

※単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合があります。

令和6年度 事業実績

総融資額

1兆4,368億円

セミナー・研修
延べ申込人数

5,614人

個別団体への
支援実施回数

3,713回

国庫帰属額

300億円※

※森林環境譲与税の譲与額の増額のために活用されました。

VISION

令和7年度においても、すべての地方公共団体の出資による地方債資金共同調達機関として、地方公共団体の政策ニーズをしっかりと踏まえながら、求められる使命を十分に果たし、地方公共団体の健全な財政運営に寄与することを目指します。

「公営競技納付金」のご紹介

公営競技納付金とは？

公営競技を開催していない地方公共団体にも、収益を還元

「公営競技納付金」は、地方公共団体が開催している、地方競馬、競輪、オートレース、競艇（ボートレース）の収益の一部をJFMに納付していただく制度です。

JFMでは、納付金を全額「地方公共団体健全化基金」として積立を行い、この基金の運用益等を活用して、地方公共団体への貸付金（融資）の金利を低く抑えています（＝機構特別利率）。機構特別利率は、貸付対象事業のうち、住民生活の基盤の整備のために特に必要な事業及び臨時財政対策債に適用されています。

公営競技納付金と地方公共団体健全化基金は、公営競技を開催していない地方公共団体にも、公営競技の収益を還元する仕組み（いわゆる「収益の均てん化」）としての機能を果たしています。

機構特別利率とは？

公営競技納付金、地方公共団体健全化基金などを活用して、利下げを実施

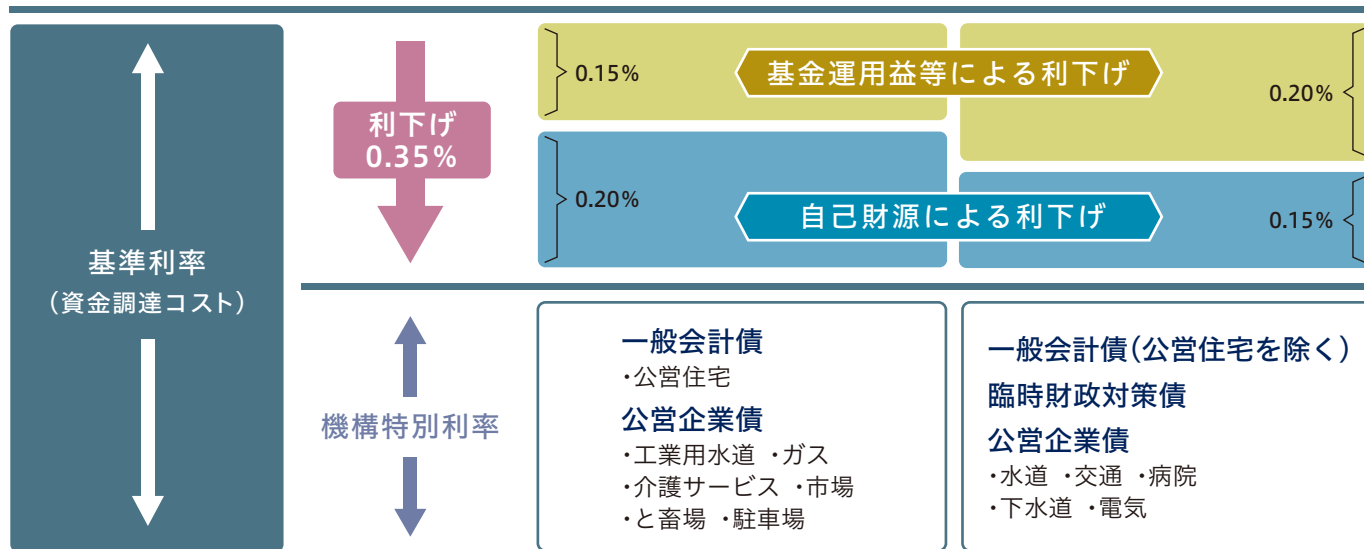
JFMの貸付利率は、「基準利率」と「機構特別利率」の2種類があります。

「基準利率」は、JFMの資金調達コストと貸付金の利息収入が均衡するように算出した利率です。

「機構特別利率」は、基準利率よりも低い利率※に設定されています。基準金利より利率を下けている分、JFMの利息収入は減ることになりますが、地方公共団体健全化基金の運用益等（下図の黄色で表示）とJFMの自己財源で補てんする仕組みとなっています。

近年、「基金運用益等による利下げ」については、運用益だけでは足りないため、不足分を公営競技納付金（当該年度納付分）から、さらに不足する場合はJFMの自己財源から補うことで、低金利を維持しています。

基準利率と機構特別利率の仕組み



※機構特別利率は、同一償還条件の財政融資資金の利率を下限としています。

JFMの事業内容
をもっと詳しく知りたい方は
業務案内パンフレット



JFMの事業実績
をもっと詳しく知りたい方は
ディスクロージャー誌



JFM 刊行物

検索



<https://www.jfm.go.jp/book/index.html>
最新版のPDFをダウンロードできます！

令和6年度にJFMに納付された「公営競技納付金」は226億76百万円です。
制度内容と令和6年度の状況についてご紹介します。

公営競技納付金の状況

公営競技納付金の納付額は増加

令和6年度に納付いただいた公営競技納付金は226億76百万円となり、前年度に比べて30億87百万円(15.8%)増加しました。

過去5年の推移

(単位:百万円)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
公営競技納付金	9,041	13,691	19,997	19,589	22,676
公営競技施行団体数(純計)	191団体 (令和元年度開催)	191団体 (令和2年度開催)	191団体 (令和3年度開催)	191団体 (令和4年度開催)	190団体 (令和5年度開催)
納付団体数	60団体	86団体	87団体	91団体	91団体

地方公共団体健全化基金、利下げ補てん所要額、基金運用益等の状況

利下げ補てん所要額へ基金の運用益及び公営競技納付金の一部を充当 地方公共団体健全化基金の年度末残高は増加

令和6年度の「利下げ補てん所要額」は241億16百万円(P9の図の黄色の部分)でした。

地方公共団体健全化基金の運用益は68億11百万円となっており、運用益だけでは利下げ補てん所要額を満たせなかったため、公営競技納付金(当該年度納付分)の一部である173億4百万円を充当して不足分を補いました。

不足分への納付金の充当が、納付額の一部に留まったため、地方公共団体健全化基金の年度末残高は9,318億70百万円となり、前年度に比べて53億71百万円(0.6%)増加しました。

過去5年の推移

(単位:百万円)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利下げ補てん所要額	22,622	23,322	22,598	23,344	24,116
基金運用益	7,305	6,595	6,187	6,380	6,811
【再掲】公営競技納付金(当該年度納付分)	9,041	13,691	19,997	19,589	22,676
公営競技納付金(当該年度納付分)から 利下げ補てん所要額への充当額	9,041	13,691	16,410	16,964	17,304
自己財源充当額※	6,275	3,034	—	—	—
地方公共団体健全化基金(年度末残高)	920,287	920,287	923,873	926,499	931,870

(注)表示単位未満切り捨てのため、計が一致しない場合があります。

※「自己財源充当額」は、利下げ補てん所要額に対して、基金運用益と公営競技納付金(当該年度納付分)を充当しても足りない部分をJFMの自己財源(収益)から補っている額です。

利用してみよう!



地方支援業務

JFMの地方支援部では、資金調達をはじめとした地方公共団体の財政運営全般にわたり、各種事業を実施しています。



より幅広い分野でアドバイザーの支援を受けたい!

令和7年度 地方公共団体の経営・財務 マネジメント強化事業を拡充しました!

まずはお気軽に
お問い合わせ
ください!

地方公共団体が直面する課題の解決を図るために、総務省とJFMの共同でアドバイザーを派遣しました。第3次募集(7月～)からは「地方税務行政のDX等」の追加を予定しています。課税事務や徴収事務の効率化を検討の方は、ぜひご活用ください。

本事業の
ポイント

- 予算計上なしで迅速なアドバイザー派遣が可能です。
- 公会計関連を含め10分野のアドバイス支援が可能です。
- 約800人の専門的人材がアドバイザーを担当します。
(公認会計士、学識経験者、自治体職員・OBなど)

費用負担
なし!

利用者の声



予算措置なしでアドバイスを受けられることはありがたい。
標準化PMOへの入力を予定より早いスケジュールで進めることができ、
時間に制約がある標準化に向けた作業が大幅に進み助かった。

1

事業概要

アドバイザーを派遣する支援分野

① 公営企業・第三セクター等の経営改革に関すること DX・GXの取組/経営戦略の改定・経営改善/公立病院経営強化のプラン改定・経営強化の取組 等
② 公営企業会計の適用に関すること
③ 地方公会計の整備・活用に関すること
④ 公共施設等総合管理計画の見直し・実行に関すること(公共施設マネジメント)
⑤ 地方公共団体のDXに関すること 情報システムの標準化・共通化/DXの機運醸成/外部デジタル人材の確保/消防防災DX 等
⑥ 地方公共団体のGXに関すること 地域共生・地域裨益型再エネの立地/脱炭素型まちづくり 等
⑦ 地方公共団体間の広域連携に関すること(追加) 公共施設の集約化等/専門人材の確保/事務の共同実施
⑧ 地方税務行政のDX等に関すること(第3次募集より追加予定) 課税事務の効率化/徴収事務の効率化
⑨ 全国の好事例を生かした地方創生2.0の取組(仮称)(第4次募集より追加予定)
⑩ 首長・管理者向けトップセミナー ※啓発・研修事業のみで実施

① 支援分野

② 支援の方法

地方公共団体・公営企業に対して継続的に派遣

① 課題対応 アドバイス 事業	地方公共団体・公営企業が直面する課題に対して、当該課題の克服等、財政運営・経営の改善に向けたアドバイスを必要とする場合に団体の要請に応じて派遣
② 課題達成 支援事業	政策テーマの実施に当たり、知識・ノウハウが不足するために達成が困難な地方公共団体・公営企業に、技術的・専門的な支援を行うために派遣
都道府県に対して派遣	
③ 啓発・ 研修事業	都道府県が市区町村・公営企業等の啓発のため、支援分野の研修を行う場合に派遣

2

申請期間(2月末～12月末)

- 令和7年度も切れ目なく申請を受け付けます。
- 支援決定は残り3回(7月・10月・1月)を予定しています。

※派遣日程等は申請受付後でも変更可能です(活用が見込まれる場合には、計画ベースで申請を行っていただいて差し支えありません)。

支援決定前でも申請内容について確認ができたものは、内示を行うことで事業実施可能です。

ホームページでも情報を公開しています!

JFMホームページにおいて、「実施の手引き」など、関係資料を掲載中! 活用事例も紹介しています。ぜひご確認ください。
※申請に際しては、本事業のWEBシステムをご利用いただけます。使い方等については、下記ホームページで公表しているマニュアルを参考にしてください。

地方公共団体の経営・
財務マネジメント強化事業



JFM 経営・財務マネジメント強化事業

検索

お問い合わせは
こちらから

地方支援部
支援企画課

03-3539-2676

chihoushien@jfm.go.jp

資金調達や資金運用について、すぐ学びたい、相談したい！

金融についての
相談先は
ないかな？

令和7年度 出前講座／実務支援(個別相談)

JFMでは、講義内容を選べるオーダーメイド型講座の「出前講座」、課題解決に向けた専門的なアドバイスを行う「実務支援(個別相談)」を実施しています。

費用負担
なし！



本事業の ポイント

出前講座(金融・財政関係)

- 金融機関出身の自治体ファイナンス・アドバイザー等が団体の要望に応じたテーマ・方法で講義を実施します。
- 講師派遣またはWEB会議システム等によるオンライン形式での対応が可能です。

実務支援(個別相談)

- 金融機関出身で金融の専門知識が豊富な自治体ファイナンス・アドバイザー等が団体の課題や疑問の解決に向けて専門的なアドバイスを行います。
- 電話、メール、WEB会議システム等によるオンライン形式及び講師派遣での対応が可能です。

利用者の声



費用がかからないためあらかじめ予算確保の必要がない上に、少人数でも実施してもらえたことは非常にありがたかったです。

令和7年度 出前講座 講義テーマ(一部)

※詳細はJFMのホームページをご覧ください。

資金調達	財政関連
地方債の金利の見方 [1時間程度]	財政分析と地方債管理 [1.5時間程度]
実践スプレッド分析 [1～1.5時間程度]	財政収支見通しと人件費の長期推計 [1時間程度]
銀行等引受債の借入交渉 [各テーマ30～60分程度] 借入期間と固定金利方式／金利見直し方式／基準金利の考え方／据置期間／ 債権譲渡 等	公営企業改革と公営企業決算の見方 [1.5～2時間程度]
	地方公会計決算の見方 [1～2時間程度]
資金運用	金融・経済
資金運用のリスクと管理 [1.5～2時間程度] 資金運用のリスクと留意点／金融商品のリスクと管理／債券運用の方法	銀行の現状と指定金融機関 [1～1.5時間程度]
	日本経済と金利の動向 [1～2時間程度]

実務支援(個別相談)過去に相談をいただいた事例の一部

Q

金利が上昇している状況なので、今後の利払負担を少しでも軽減するために、任意繰上償還について検討していますが、どうでしょうか。

A

固定金利借入れについては、任意繰上償還時に「損害金」支払いを求められることが一般的です。借入契約書の条項について確認いただく必要がありますが、「損害金」支払いに関する条項が含まれている可能性が高いです。

したがって、借入先に任意繰上償還時の「損害金」の額を確認し、今後の利息総支払額と比較してください。

お申し込み方法や、支援実施までの流れは
JFMのホームページでご確認ください



JFM 人材育成・実務支援

検索

お問い合わせは
こちらから

地方支援部
ファイナンス
支援課

03-3539-2677

finance@jfm.go.jp

地方財政や資金調達・運用について学びたい！

令和7年度 地方財政や金融に関する セミナー・研修を実施します！

地方公共団体金融機構のセミナー・研修は原則として参加費無料です！
お気軽にご参加ください！

費用負担
なし！

利用者の声



「施設統廃合や広域化は簡単な道のりではないですが、
幾多の成功事例を紹介いただき施設統廃合の糸口をつかむことができました。
「安全を見すぎて逆に安全を損なう」というワードが印象に残りました。」

JFM地方財政セミナー・JFM地方公営企業セミナー

日帰り | 地方財政や地方公営企業に係わる関心の高いテーマについて、国における最新の動向や、先進的な取組事例を紹介します。

研修名	開催日	場所	講義プログラム(予定)
JFM地方財政 セミナー	令和7年7月28日(月)	東京会場 (JA共済ビルカンファレンスホール)	地方公会計に基づく財務書類等の活用方法や、 公共施設等の適正管理といった、地方財政に係わ る関心の高いテーマなど
	令和7年8月6日(水)	愛知会場 (JPタワー名古屋ホール&カンファレンス)	
JFM地方公営 企業セミナー	令和7年7月29日(火)	東京会場 (JA共済ビルカンファレンスホール)	「公営企業のDX・GX」や「公営企業の経営改善 (上下水道・病院)」といった、地方公営企業に係わ る関心の高いテーマなど
	令和7年8月7日(木)	愛知会場 (JPタワー名古屋ホール&カンファレンス)	

※上記セミナーはライブ配信を実施しますので、オンラインでも参加できます。

宿泊型 | 地方公営企業等の担当職員(初任者～中堅職員)を対象としています。

研修名	開催日	場所	講義プログラム
JFM地方公営 企業セミナー	令和7年6月 4日(水)～6日(金)	全国市町村国際文化研修所 (JIAM:滋賀県)	地方公営企業の基本的な制度の概要及び財務会 計制度、経営戦略の改定などについての講義・演習

資金調達・資金運用に関する研修

日帰り | 資金調達や資金運用の基礎を短期間で学びたい職員を対象としています。

研修名	開催日	場所	講義プログラム(予定)
資金調達入門 研修	令和7年7月10日(木)	大阪会場 (TKPガーデンシティPREMIUM大阪梅田新道)	借入金利の見方、借入金利の分析、銀行等引受債 の借入交渉、日本経済の見方、日本銀行の金融 政策と金利動向
	令和7年10月16日(木)	東京会場 (JA共済ビルカンファレンスホール)	
資金運用入門 研修	令和7年7月11日(金)	大阪会場 (TKPガーデンシティPREMIUM大阪梅田新道)	資金運用商品の種類と特徴、資金運用のリスク 管理、資金運用の手法、銀行の現状と指定金融 機関、日本銀行の金融政策と金利動向
	令和7年10月17日(金)	東京会場 (JA共済ビルカンファレンスホール)	

宿泊型 | 資金調達と資金運用を基礎から専門的知識までじっくり学びたい職員を対象としています。

研修名	開催日	場所	講義プログラム(予定)
資金調達・運用・ 財政分析の 集中講座	令和7年7月 23日(水)～25日(金)	全国市町村国際文化研修所 (JIAM:滋賀県)	資金調達入門研修、資金運用入門研修、資金調達・ 運用に関する取組(事例発表)、グループワーク、演 習など(日帰り研修と一部内容が重複しています)
	令和7年9月 17日(水)～19日(金)	市町村職員中央研修所 (JAMP:千葉県)	

最新情報はJFMのホームページをご確認
ください。お申し込みも受け付けています。
(宿泊型研修はJIAM、JAMPのホームページ)



JFM 研修

検索

お問い合わせは
こちらから

支援企画課

ファイナンス支援課

chihoushien@jfm.go.jp (共通)

03-3539-2676

03-3539-2677

空いた時間に、その場でセミナーを受講したい！

職員研修として
活用も可能です！

JFMのeラーニングをぜひご活用ください！

JFMでは、集合研修に加え、eラーニングによる研修に取り組んでいます。

本事業の
ポイント

●多様な講義をいつでも受講可能

地方公共団体の業務に役立つ講義を50以上配信しています。いくつ講義を受講しても無料です。

費用負担
なし！



●自分のペースで学べる

講義を分割しながら進めることができるため、業務の進捗状況に合わせて受講できます。

●手続きが簡単

JFMホームページから申込手続きができます。申込翌日から受講可能です。

利用者の声



4月から公営企業会計を担当することになり、言葉も全く分からない、周りにもあまり聞けない中に、大変ありがたい研修でした。演習問題も多くて分かりやすかったです。業務にすぐ役立っています。

令和7年度の配信講義

4月開講

初めて資金運用や地方財政に携わる方もすぐに受講いただけるよう、基礎的な講義を中心に開講しています。

地方財政に関する講義

地方財政制度(初級編)／地方財務(予算・決算) ほか

財政分析に関する講義

財政分析(入門編)／財政収支見通し ほか

資金調達・運用に関する講義

借入金利の見方／資金運用のリスクと管理 ほか

簿記・公会計に関する講義

簿記・公会計(導入編)／地方公会計制度の活用 ほか

秋頃から開講

最新の制度の動向や先進団体の事例の講義などを開講します。

地方公営企業等の現状と課題／地方公会計の推進と公共施設の適正管理／水道事業における先進自治体の事例 ほか(仮称)

アーカイブ動画

過去に配信した講義の一部は、アーカイブ化しています。

公会計の活用／FM推進とPPP／水道DX・GX／下水道DX・GX／病院事業の経営改善／地方財政／中長期財政シミュレーション ほか

詳しくはJFMのホームページをご確認ください。



JFM eラーニング

検索

お問い合わせは
こちらから

支援企画課

ファイナンス支援課

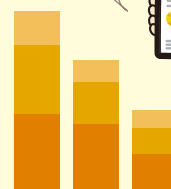
☎ 03-3539-2676
☎ 03-3539-2677
✉ chihoushien@jfm.go.jp (共通)

みんな
気になる、
お金のこと

今回のテーマ ▶▶▶

コーラブル定期の リスク

ワシに
おまかせナンス！



中途解約できない高金利の定期預金

地方公共団体の資金運用担当者から、金融機関から金利の高いコーラブル定期預金（以下、コーラブル定期）を勧められたとの話を聞く機会が増えました。既に預けた団体、検討中の団体もあるようです。国債金利の上昇に比べ、定期預金金利が上昇しない中、定期預金より金利の高いコーラブル定期【MEMO①】のセールスに一部の金融機関は注力しているようです。コーラブル定期は預金金利が高いものの、預金者から中途解約できません。もし、金融機関からコーラブル定期を勧められた場合には、以下のようなコーラブル定期の仕組みとリスクを理解した上で、検討してください。



国債金利上昇と預金金利

2024年3月に、日本銀行がマイナス金利政策とイールドカーブコントロール（YCC）と決別し、短期の政策金利を0～0.1%とする利上げを行って以降【MEMO②】、国債金利は上昇しています。日本銀行がマイナス金利政策を行っている間、普通預金金利が0.001%、定期預金金利0.002%という水準が長く続き、運用担当者は毎年減る資金の運用益に頭を抱えていました。

2025年4月上旬の時点で、三菱UFJ、三井住友、みずほのメガバンク3行がホームページで提示する大口定期預金（以下、大口定期）の金利は1年0.275%、2年0.325%、3年0.35%、5年0.4%、10年0.5%で、以前よりは上昇していますが、国債金利（2025年4月1日～10日の平均値）は1年0.548%、2年0.697%、3年0.743%、5年0.927%、10年1.324%であり、同期間の定期預金金利の2倍程度ないし2倍以上とかなり高くなっています【図表1】。

過去に購入した債券が金利上昇により大きな評価損を抱える地方公共団体についての報道もあり、債券購入には不安を感じる団体もある中、通常の（低金利の）定期預金と債券の間を埋める運用商品として、コーラブル定期を勧める金融機関が登場したと思われます。

【図表1】大口定期預金金利と国債金利

（単位：%）

期間	大口定期金利	国債金利
1年	0.275	0.548
2年	0.325	0.697
3年	0.350	0.743
4年	0.375	0.843
5年	0.400	0.927
7年	0.450	1.000
10年	0.500	1.324

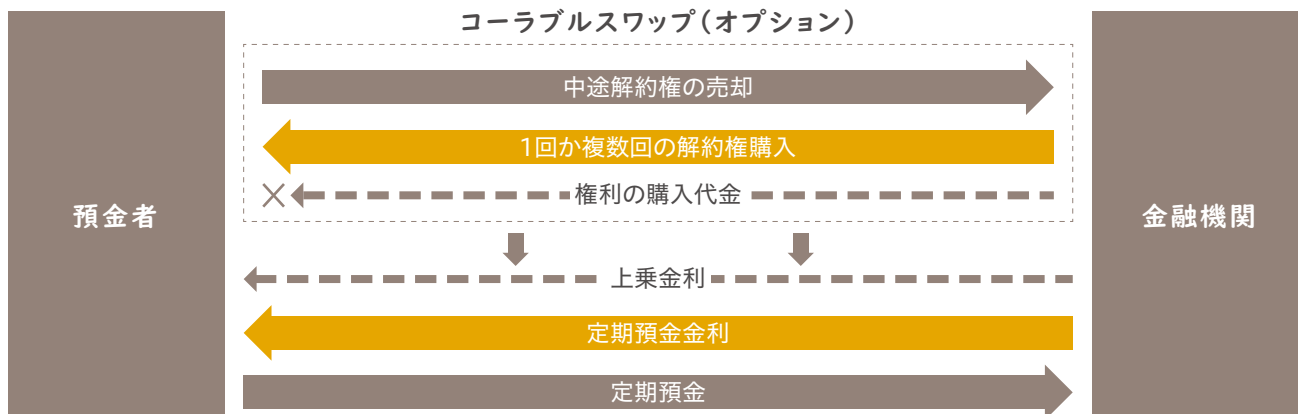
【出典】預金金利は三菱UFJ、三井住友、みずほ各銀行のホームページより（2025年4月上旬）
国債金利は、財務省ホームページ国債金利情報（2024年4月1日から10日の平均）



コーラブル定期は預金者に有利な預金か？

コーラブル定期は、定期預金とコーラブルスワップ（オプション）というデリバティブ取引を組み合わせた「仕組預金」です。預金者は中途解約できない一方、金融機関側は満期までに、解約権を行使できる機会を1回ないし複数回保有します。コーラブルスワップ（オプション）取引は、預金者が金融機関に、預金を中途解約できる権利を売却し、金融機関は預金者に代金を支払うと考えればわかりやすいと思います。金融機関は代金を預金金利に上乗せして示すので、預金者が中途解約権の売却代金の受取を意識することはないでしょう【図表2】。金融機関は、本来のコーラブルスワップ（オプション）の購入代金より預金金利への上乗せ分を少なめにするので、差額部分を収益として確保していると思われます。

【図表2】コーラブル定期のイメージ





さまざまな商品設計

コーラブル定期には、金融機関が解約権を行使できるタイミングが1回だけのコーラブル定期と、タイミングが複数回あるマルチコーラブル定期があります。

ある銀行のコーラブル定期の商品説明書では、預入期間は3年、4年、5年の3種類、6ヶ月ごとの利払い、最低預入金額1億円、銀行は預入日の1年後に中途解約が可能です。本例で、中途解約のタイミングが、1年後、2年後、3年後の3回になれば、マルチコーラブル定期になります【MEMO③】。期間10年、15年の超長期のコーラブル定期を募集する金融機関もあります。



コーラブル定期は有利な金融商品か？

預入金額1億円、期間5年、金利0.7%、1年後に金融機関が解約可能なコーラブル定期を題材に、1年後に金利上昇、金利低下の2ケースで、何が起きるか考えてみましょう【図表3】。

【図表3】コーラブル定期預金の利息試算（預金金額100,000千円）

<例1> 今後、金利上昇（1年後の4年定期預金金利1.00%/1年後の5年定期預金金利1.20%）

（金額単位：千円）

預金種類	預金金利	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	計
コーラブル定期	0.70%	700	700	700	700	700	3,500
大口定期	0.275%	275	-	-	-	-	4,275
	1.00%	-	1,000	1,000	1,000	1,000	

<例2> 今後、金利低下（1年後の4年定期預金金利0.30%/1年後の5年定期預金金利0.35%）

（金額単位：千円）

預金種類	預金金利	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	計
コーラブル定期	0.70%	700	-	-	-	-	1,900
大口定期	0.30%	-	300	300	300	300	

<例1>は、預入後、金利が上昇し、1年後に4年定期1.0%、5年定期1.2%となった場合です。金融機関は、残り4年間0.7%の預金は有利なので解約しないでしょう。コーラブル定期は残り4年間0.7%の解約できない定期預金で確定します。5年間の利息合計は350万円です。預金者が現時点1年定期（金利0.275%）に預け、1年後に4年定期1.0%を選択すると利息合計額は427.5万円です。預金者はコーラブル定期を選択したことで、より有利に運用できる機会を逃したことになります。

<例2>は、金利が低下し、1年後に4年定期0.3%、5年定期0.35%となった場合です。金融機関にとって残り4年間0.7%の定期預金は割高なので、解約するでしょう。コーラブル定期は期間1年0.7%の定期預金で終わりです。預金者は残り4年間で定期預金に預けると金利は0.3%です。5年間の利息合計は190万円にとどまります。

金利上昇時には、満期まで不利な（低金利の）運用を強いられ、金利低下時には、有利な（高金利の）運用は短期で終了する。これが、コーラブル定期の抱える根源的なリスクです。また、中途解約できない預金なので預け先の信用リスク（倒産リスク）にも備える必要があります。期間が長く、高い金利が示された場合、金融機関の決算内容が悪化していないか、預金量が減少していないか等にも目を配ってください。高い金利（ハイリターン）の裏には、ハイリスクが潜んでいるということは、金融商品の変えることのない原則です。



今回の
まとめ

コーラブル定期は定期預金より金利が高いことが魅力ですが、預金者から中途解約できないナンス。そうしたリスクも理解し、金融機関の決算内容も十分に確認した上で検討すべきナンス。

ファイナンスMEMO

- ① 満期特約型定期預金、満期日繰上特約付定期預金、期限延長型特約付定期預金等の名称を使う金融機関もあるナンス。
- ② 短期の政策金利は、金融業者間（金融機関、証券会社、短資会社等）で無担保・翌日返済の貸出金利ナンス。2024年7月に0.25%、2025年1月に0.5%に引き上げられたナンス。
- ③ コーラブル定期の詳細な商品設計は金融機関により異なると思われるナンス。

わたしのシゴト わたしのジモト

豊富な経験と専門知識を持つ職員から、たくさん刺激を受けています。



管理部 経理課

野村 有輝

YUKI NOMURA

JFMの決算業務を担当し、財務諸表の作成、公表などを主な業務としています。業務を通じて、組織の動きを俯瞰して把握できるため、幅広い知識を身につけることができます。また、年次決算や中間決算だけではなく月次決算も実施しており、月々の収入・支出の動きを確認し、必要に応じて担当課に問い合わせるなどして変動要因を調査しています。変動要因を上司へ報告する際には、正確にわかりやすく伝えることを心掛けています。JFMには、総務省や地方公共団体からの派遣職員、金融機関出身職員、プロパー職員など、さまざまな職員が在籍しています。それぞれ豊富な経験と専門知識を持っているため、勉強になることが多く、たくさん刺激を受けています。

派遣元 富山県

富山県は3,000m級の立山連峰に囲まれ、水深1,000mを超える富山湾に面した自然豊かな県です。立山連峰は、天気が良ければ街中からでも良い眺めで、地元の人でも思わず足を止めてしまうほどの絶景です。また、富山湾は、「天然のいけす」と称され、ブリ、シロエビ、幻魚など海の幸に恵まれています。オススメの郷土料理は「ます寿司」です。塩漬けされた鰯を使った押し寿司の一種で、鰯と酢飯の相性が最高です。富山県にお越しの際は、ぜひご賞味ください。



立山連峰
[写真提供: (公社)とやま観光推進機構]



ます寿司
[写真提供: (公社)とやま観光推進機構]

自身の業務が地方支援につながることを、とても嬉しく思います。



地方支援部 支援企画課

安田 匠汰

SHOTA YASUDA

JFMセミナーの企画・運営や財政運営上の課題を抱える地方公共団体にアドバイザーを派遣する「経営・財務マネジメント強化事業」を担当しています。派遣元では地方支援業務を利用する側でしたが、現在は行う側であり、真逆の立場となりました。どのような業務が地方公共団体のお役に立つかといった視点で業務に当たり、自身の業務が地方支援につながることはとても嬉しく思います。JFMには総務省や地方公共団体、金融機関出身の職員、プロパー職員などさまざまなバックグラウンドを持つ職員が在席し、派遣がなければ出会うことがなかったであろう人たちとつながりができたことは財産になっています。このつながりは、これからも大切にしていきたいです。

派遣元 岡山県岡山市

岡山市は瀬戸内海の風土により温暖で晴れの日が多く、「晴れの国」と呼ばれています。また、白桃、マスカットなど果物の生産が盛んで、「フルーツ王国」とも呼ばれており、市内には岡山の果物を使用したパフェを提供する店舗がたくさんあるのも魅力です。歴史的には、岡山城や日本三名園の1つ岡山後楽園などの名所があり、岡山後楽園では春夏秋冬に幻想庭園というライトアップイベントが実施されます。魅力がたくさんの岡山市へぜひお越しください！



シャインマスカットパフェ



岡山後楽園の幻想庭園
[写真提供: 岡山県観光連盟]

JFMに出向していた職員がJFMを語る

OB/OG MESSAGE ... 2018~2019年度資金部資金課にて勤務



愛知県総務局財務部財政課
飯田 好輝 YOSHITERU IIDA

JFMで得た知識が業務の糧となっています。

JFMにとっての基幹年限たる10年債をはじめ、各種債券発行業務に従事しました。当時はマイナス金利政策、イールドカーブ・コントロールの真ただ中にあり、証券会社や全国の投資家の皆様と密に意見交換をしながら、歴史的な低金利下ならではの適切な発行水準を追求する日々で、JFMにとって歴史的な2019年6月から11月にかけての起債は強く記憶に残っています。また、築地で朝食を食べたり、皇居周辺を走ったりと業務以外での結び付きを強くすることもできました。全国に仲間がいることは心強いですし、地方財政・金融に関する知識は現在の業務の糧となっています。

上司からのメッセージ

帰任後は、財源確保や開催まで1年余りとなったアジア競技大会・アジアパラ競技大会などの予算編成に取り組んでくれており、JFMで培った経験を活かした働きぶりを頼もしく思っています。本県行政の中核を担うべく、今後の更なる成長を期待しています。



財務部長兼財政課長
岡 航平

地方公共団体から派遣され、
JFMで活躍している職員が、日々の業務や、
地元の魅力についてご紹介します。



派遣元に戻ってもJFMの業務経験が活かせると感じています。



融資部 融資課

山崎 理子

RIKO YAMASAKI

融資課に所属し、主に貸付審査や貸付決定に関する業務を担当しています。派遣元では財政経験が少なく、着任当初は不安や苦勞もありましたが、先輩職員のサポートのおかげで乗り越えることができました。また、JFMの充実した研修制度や財務状況調査等業務で培った経験により、地方債や地方財政への理解も深まり、派遣元に戻ってもこの経験が活かせると感じています。JFMにはさまざまな職員が在籍しており、多様な視点をもった職員の方と交流して視野が広がったと感じます。特に派遣職員は同年代が多く、業務の相談のほか、休日にも一緒に過ごすなど、公私ともに交流を深めることができます。JFMで得た人とのつながりはこれからも大切にしたいと思います。

派遣元 福岡県

福岡県は、交通の便の良さ、もつ鍋や博多ラーメンといったグルメ、海の中道海浜公園や能古島などの自然スポットなど、魅力がたくさんあります。中でも、私は特にブランド農産物を推したいです。「あまおう」は「あかい、まるい、おおい、うまい」の頭文字で名前が付けられた苺で、甘酸っぱく味も濃厚です。「秋王」は種がほとんどなく、サクサクとして甘い「秋の王様」のような柿です。福岡にお立ち寄りの際は、ぜひ美味しい農産物を食べていただきたいです！



能古島



秋王

JFMは財政への思いや経験を活かせる場だと実感しています。



融資部 融資管理課

田邊 裕久

HIROHISA TANABE

地方公共団体への貸付金の管理を担当し、貸付金を原資とした事業の変更報告から貸付金の返済まで、「貸し付けた後」のことを全般的に担っています。業務を通して全国の地方公共団体の財政運営のお役に立てることは大きなやりがいを感じます。私は派遣元では財政課に所属し、読者の皆さんと同じようにJFMに相談をする立場でした。JFMに来てからは地方公共団体の相談を受ける立場となっていますが、JFMはこれまで培ってきた財政への思いや経験を活かせる場だと実感しています。また、JFMでは全国から派遣されてきた仲間と仕事をするため、自然と視野が広がります。他部署の職員との研修や出張の機会も多く、部署の垣根を越えて交流を深められます。

派遣元 千葉県市川市

市川市は都心からのアクセスが良い文教・住宅都市ですが、古くは国府がおかれるなど歴史も深く、多くの魅力があります。例えば「行徳神輿」。江戸時代から続く伝統的工芸品であり、市川市は今でも日本有数の神輿の産地です。また梨栽培も200年以上の歴史があり、「市川の梨」としてブランド化されています。「水辺のまちづくり」を掲げることから、江戸川などの河川を利用したイベントも多く、中でも毎年8月に行われる納涼花火大会は圧巻です。



行徳神輿



納涼花火大会
[写真提供:市川市経済観光部観光振興課]

機構からのお知らせ

派遣職員を募集しています。

人とつながる、世界が広がる

地方公共団体金融機構では、全国の地方公共団体から派遣された多くの職員が活躍しています。地方公共団体金融機構と一緒に働く職員を募集しています。派遣職員が従事する主な業務は、貸付業務、資金調達業務、地方支援業務です。派遣職員向けに充実した研修制度があります(地方財政と金融に関する研修、資金調達及び資金運用に係る金融知識の習得を目指す宿泊型研修等)。この派遣は、地方三団体(全国知事会、全国市長会、全国町村会)の斡旋により実施しております。お問い合わせにつきましては各事務局または地方公共団体金融機構 経営企画部 秘書役室へご連絡をお願いします。

各事務局または
地方公共団体金融機構
経営企画部 秘書役室

Tel.03-3539-2629



ホームページにて、職員派遣についてのパンフレットのPDFを公開しています。トップページからアクセスできますので、ぜひご覧ください

JFM 職員派遣

検索

私たちも JFM債 買っています!!

JFM債とは JFM BONDS

JFMが発行する債券です。国債と同等の格付を取得しており、高い信用力を有しています。



こんにちは。私たちは千葉市資金課です。千葉市は東京湾の湾奥部に面し、千葉県のほぼ中央部に位置しています。大正10年1月1日に市政施行後、平成4年4月1日に政令市に移行して30年余りが経過したところです。令和8年には、まちが開かれてから900年という大きな節目を迎えることとなり、次代を担う若い世代が千葉市に誇りを持ち、より豊かな未来につなげていくことができるよう、「千の葉に 時を刻んで 900年」というキャッチコピーのもと、千葉市が一丸となって千葉開府900年記念事業に取り組んでいます。(詳しくは「千葉開府900年」で検索!)資金課では、歳入確保に向けた取組の1つとして、市債管理基金(いわゆる減債基金)による債券のラダー型運用を行っており、JFMの10年債及び20年債を定例的に購入しています。今後も、効率的な債券運用を行い、歳入確保に努めていきます。

千葉県 千葉市

千葉市
資金課の皆さん

編集後記

本号の制作にあたり、ご協力賜りました皆様に厚くお礼申し上げます。

今回は「融資がつむぐ まちづくり」で埼玉県川口市を、「地域のために がんばる公営競技」で伊東温泉競輪場(静岡県伊東市)をご紹介しました。川口市では、川口市立高等学校の隣に位置し、行政施設と映像産業拠点施設によって構成される「SKIPシティ」に足を運びました。体験を通じて楽しみながら学べる施設もあり、地域の人に親しまれていると感じることができました。伊東市では、取材後に伊東温泉競輪場の最寄り駅(南伊東駅)の一駅隣の伊東駅に伺い、伊東市宇佐美漁港周辺の伝統食「うずわ(ソウダガツオ)」をいただきました。また、街を散策し松川遊歩道を通った際、旧木造建築旅館の東海館が見え、伝統的な日本建築様式の趣はとても印象的でした。

次号のJFMだよりは令和7年9月末に発行となります。引き続きJFMだよりをよろしくお願いいたします。

[企画課 石川]

取材訪問時のひとコマ

地域に根ざした
施設と食を体感



JFMだよりへの掲載希望やご意見はこちらへ

お問い合わせ先 経営企画部 企画課 広報担当 ☎03-3539-2674 ✉info@jfm.go.jp

JFMとは

金融で地方財政を支え 地域の未来を拓く

地方公共団体に対して長期かつ低利の資金を融通し、資本市場からの資金調達などに関して支援を実施することで、地方団体の財政の健全な運営及び住民の福祉の増進に寄与しています。

JFM
ホームページ



金融で地方財政を支え 地域の未来を拓く
地方公共団体金融機構
Japan Finance Organization for Municipalities



[JFMとは、Japan Finance Organization for Municipalities の略称です。]

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1番3号 市政会館

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。